

丹後学園だより

令和8年6月25日 NO.4 丹後学園事務局 75-0126

学園教育目標

夢と希望と創造性あふれる豊かな心を持ち、
未来に向けて主体的に生きる子どもの育成

丹後中学校 合唱祭

6月4日（木）多くの保護者の皆様、学園運営協議会委員様、民生児童委員様、そして、地域の皆様等の参観のもと、合唱祭が行われました。

合唱祭のねらい

- ① 全校・学年・学級の目標を立てて取組を進め、課題に気づかせ、克服する取組にする。
- ② 生徒会を中心として、合唱の取組と同時に日常生活の規律向上を図る。

開会のあいさつの中で、校長先生から「主役は、皆さんですから、『自分たちの合唱を創るんだ。』という強い気持ちで臨みましょう。合唱は一人ではできません。仲間の声に耳を傾け、お互いの個性を認め合い、心をついに、ハーモニーを響かせましょう。今日の本番、緊張するかもしれません。しかし、これまでの練習を信じ、今できる一番の『挑戦』のステージにしてください。」と励ましの言葉がありました。今までの練習してきたことを精一杯発表することができました。

P T Aの皆様も生徒の頑張りに応えようと、合唱を披露していただきました。

また、小中連携の取組として丹後小学校6年生が参観しました。このような取組などを経験し、中学校にスムーズになじんで、仲間と一緒に頑張ってくれることを期待しています。



2年生 ♪タイムリーパー♪



1年生 ♪ハートのアンテナ♪



3年生 ♪YELL♪



PTA合唱 ♪ひまわりの約束♪



全校合唱：♪RAIN♪
♪丹後中学校校歌♪



最前列で丹後小6年生が参観

丹後学園 学園運営協議会年度初総会を開催しました

5月29日、丹後学園学園運営協議会を開催しました。初めに会則に従い役員選出を行いました。その結果、昨年度に続いて、会長に下田好之様を選出し、副会長に小森悟様が指名されました。1年間よろしくお願いします。

議事におきましては、令和8年度丹後学園経営計画（年間行事予定等）、令和8年度丹後学園学園運営協議会運営方針・計画等が承認されました。

丹後学園経営計画

学園教育目標

「夢と希望と創造性あふれる豊かな心を持ち、
主体的に生きる子どもの育成」

目指す子ども像

- ＊ことばで伝え合い、主体的に学ぶ子（知）
- ＊自分を大切にし、人を思いやる子（徳）
- ＊ねばり強く身体をきたえる子（体）

経営方針

- 1 将来を展望し未来を拓くために充実した
学校生活を送ることのできる学園
- 2 目指す子ども像をもとに、園小中の教職員
が連携を図り責任をもつ学園
- 3 保護者・地域に信頼される学園

学園運営協議会、委員の任務

- ① 学校と地域社会が連携を強め、保幼小中
一貫教育を進めていく。

- ② 丹後学園の基本方針の承認、保幼小中一貫教育の支援、学園運営状況の評価等

その後、分散会を行い、学園教育目標にある「主体的に生きる」にかかわって意見交換を行いました。その一部ですが、紹介します。

丹後学園 学園運営協議会委員

吉岡	勇	様	丹後町区長連絡協議会会長
下田	好之	様	丹後中学校評議員代表
堀江	亮平	様	丹後小学校PTA会長
大西	啓代	様	丹後中学校PTA会長
上羽	麻衣	様	丹後中学校家庭教育委員長
戸石	絵理	様	丹後こども園保護者会会長
中江	隆	様	丹後町民生児童委員協議会会長
小倉	麗子	様	丹後町主任児童委員
久保	和明	様	丹後地域公民館長
下戸	昭宏	様	家庭教育支援チーム代表
小畑	泰彦	様	スポーツ教室代表
梅垣	紀久代	様	文化協会丹後支部代表
小森	悟	様	丹後中学校同窓会会長
富岡	多津恵	様	読み聞かせボランティア代表

- ① 主体的に生きる」にかかわって、今の子どもたちを見て気づかれていることは何でしょうか？
 - ・子どもの成長に合わせて、好奇心、興味を持つ環境を整えることが必要ではないか。
 - ・主体的に動くに関わって、環境が整いすぎているのではないか。周りが、先回りして手を出しすぎていないだろうか。学校や家庭で、自分の気持ちを伝えることを意識させてはどうだろうか。
 - ・今、子どもたちは忙しい。効率を求めているところがあり、家でもボーとさせてはいけないという雰囲気がある。大人が、子どもの主体性をうばっている面があるのではないだろうか。
- ② 子どもたちが、積極的に生きるためには、安心安全な環境が必要と考えます。子どもたちの安心安全に関わり気づかれていることは何でしょうか？
 - ・心理的な安心があって自分の思いが伝えられるようになる。そのためにも物理的な安心・安全が必要である。
 - ・今の子どもたちは、時間的に追われている。ゆとりを持たせることが必要である。また、不安感が強く、失敗しないように確かめながら行動している。受け止めてやる必要があるし、自分がいる場所も必要である。
 - ・今の子どもたちは、失敗を恐れる傾向がある。大人も「～したほうがよい」と子どもたちが失敗しないようにしている。子どもたちに失敗をさせることも必要である。チャレンジする機会をつんでいるので、その機会を作ることが必要である。子どもたちがチャレンジできる環境を作ることが大切である。
- ③ 運営協議会として、「主体的に生きる」「安心安全な環境」にかかわって、できそうなことはどんなことでしょうか？
 - ・それぞれの立場で足を運んで今の子どもたちを知る。地域の子どもの育てるために大人が勉強する必要がある。
 - ・安心安全な環境をつくることは、主体性を育てることにつながる。しかし、環境づくりにかかわって、大人に余裕がないことも課題である。
 - ・子どもは地域の宝である。地域で育てる視点が必要である。

委員の皆様におかれましては、夜分、お仕事等でお疲れのところ、また、お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。これからもよろしくお願いします。